



# 出水南小

校訓: やさしく かしく たくましく

学校教育目標: 主体的に考え、仲間と協働し行動できる子ども(挑戦・創造・協働)

発行: 校長 塩山 武陵

## 10月講話集会

「かぞかぞ」聞いたことがありますか？

NHK で先日まで放映されていたドラマ「家族だから愛したんじゃなくて、愛したのが家族だった」のことを短縮して「かぞかぞ」というそうです。

このドラマでは、ダウン症を持った俳優さんが出演しています。日本では初めてダウン症の当事者が演じるドラマでした。写真の右は主人公を演じた河合優実さんです。左がダウン症を持った俳優の吉田葵さんです。このドラマを創ったプロデューサーの方がブログでこんなことを書いていました。「ドラマを作る前、私はダウン症を十分に知ることがなかった。わからないことで、自分の中に不安や偏見(間違った見方)が生まれていた。」「このドラマを創るうえで、どんな取り組みをしたのか?とよく聞かれますが、特別なことは何もしていません。それぞれのスタッフが、彼ら一人一人と向き合っ、得意なことや苦手なこと、性格などを知っていったということです。最初私たちは彼らがどういう人かを知らなかったけれど、より知る努力をしたというだけのことです。日常的に出会う友人、仕事仲間と何も変わりません。」

このようにして日本で初めてのことに挑戦し、素晴らしいドラマが出来上がっていったのですね。



キラリン



みなみちゃん



オークスさん

より知る努力をした



明日はいよいよ「秋の交流集会です」熊本支援学校のお友達と交流する日ですね。昨年の様子です。今週はお昼の放送で今年みんなのショップの紹介が行われていました。先ほど紹介したドラマのプロデューサーの言葉を思い出してください。「友人・仲間と何も変わりません」いつもよりもっと相手を知ろうとすることで、深い交流ができることでしょうか。この活動を通して、チャレンジする気持ちを忘れずに学校目標である「主体的に

考え、仲間と協働し行動できる子ども」に近づいていきましょう。

もうひとつだけおまけです。この絵を見たことはありますか？手話の仕方を解説していますね。これを見たら、なんとなく分かるかな。そうです。みなさんの教室に貼ってある人権カレンダーに載っている手話の解説です。手話の動画もありますのでタブレットで開いてみてください。耳が聞こえない方のための「手話」にも興味を持ってもらえるとうれしいです。

